

一般社団法人A-GOAL 2022年度事業報告書

(2022年6月1日～2023年5月31日)



2022年度を振り返って

一般社団法人A-GOAL設立2年目（任意団体 A-GOALプロジェクトとして活動を開始してから3年目）の2022年度は、2つの面で新たなチャレンジを行いました。

1つは、ケニアでのユースサッカーリーグの開幕です。2020年からの食料緊急支援で信頼関係を築いてきたケニア人サッカー指導者のケン氏・コリンズ氏とともに、キベラスラム（アフリカ最大のスラム）で、子どもたち約800人が参加するリーグ戦を開始しました。2022年10月～12月に実施したトライアルリーグでは、十分に食事ができない中でサッカーをして倒れる子どももいたことから、2023年3月から開始した「TAKESHI SEO & JAPAN presents キベラ A-GOALリーグ」では、参加する子どもたちに食事も提供しています。現地からは「リーグに参加することによって親から認められた」「ドラッグから離れることができた」など嬉しい声も届いており、このリーグを継続・発展させていくことがA-GOALの次なるチャレンジになります。

もう1つは、マラウイでのローカル食堂「ZATHU Cape Community Kitchen & Bar」開業です。2020年から農業支援を行ってきたマラウイで、食堂を開業するためのクラウドファンディングを2021年度に実施させていただきましたが、ついに2022年10月にグランドオープンしました。開業以来、55カ国の方に利用いただき、共同農園も2箇所から3箇所に広がりました。現地に拠点ができることにより、JA茨城のYouTube企画をはじめ、日本とアフリカを繋いだオンラインイベントなども実施できるようになりました。

日本では、東京・横浜・栃木・沼津・神戸・秋田・仙台でアフリカイベントを主催・運営・ブース出展し、一般の人にとって遠い存在であるアフリカをスポーツを通して少しでも身近に感じてもらえるきっかけが作れたのではないかと思います。運営ノウハウを蓄積することにより、主催団体から運営を依頼されることも増えてきました。

A-GOALは私を含めて、専門の職員はいません。全員がボランティアの中でいかに無理なく活動を持続させることができるかもテーマになっています。A-GOALの活動をサポートいただく寄附者・運営メンバー・アフリカ現地のカウンターパートとともに、これからもスポーツを通して日本とアフリカの助け合いの関係を築いていきたいと思っています。



A-GOAL活動実績 (2023.5現在)



【セネガル】

オンライン中継イベントなどを実施
WITH PEERと連携し
パラスポーツの全国大会を準備中



【カメルーン】

2021年9月 SPINと連携し
A-GOALとして
フランス語圏初の
食料支援を実施



【ザンビア】

TOKYO2020で来日中の選手団に
スポーツ用具寄贈
インターンマッチング



【ボツワナ】

人類発祥の地マウンの孤児院での
柔道教室開催
嵐被害に対する復興支援



【ナイジェリア】

コロナ下での食料支援・生理用品支援
TAIYO財団と連携し、ナイジェリア北部初の
女子サッカー大会を開催支援 など



【南スーダン】

PARK社との連携による民族融和を目指す
サッカー大会へのボール寄贈



【ウガンダ】

現地NGOと連携した食料支援
Africa Challenge（運動能力測定を通じた交流
プログラム）での交流



【ケニア】

コロナ下での食料支援・生理用品支援
サッカークラブ等と連携した食糧支援
スモールビジネスサポート
キベラA-GOALリーグ 開催中



【マラウイ】

現地サッカークラブと連携した農業支援
「ローカル食堂」開業（2022年10月）
村対抗サッカー大会開催
アイデアコンテスト開催 など

アフリカイベント実施 月1回以上

（アフリカ開発会議公式パートナーイベント
Discover Africa・アフリカンフェスタ沼津
茨城県ユニセフ協会連携連続セミナー・
日本チアダンス協会連携協力隊チャレンジ
Jリーグホームゲームでのブース出展など）

メディア掲載
（朝日新聞・読売新聞・山形新聞等）

スポーツを通して
日本とアフリカを繋げ
持続可能な社会を目指す
プラットフォーム

一般社団法人A-GOAL

◆目的：スポーツを通じて日本とアフリカの相互扶助を推進すること

◆役員

代表理事 岸卓巨

副理事 草刈康子 福居恭平

理事 宮嶋泰子 竹田憲一 浅木麻梨耶 今子由稀

監事 小林勉

役員 金森大輔 青柳直希

◆設立：2021年5月20日

◆所在地：東京都豊島区南大塚2-13-3

◆事業年度：6月1日～翌年5月31日

◆銀行：三菱UFJ銀行

◆プロジェクトメンバー：52名

(居住地：ケニア・マラウイ・アメリカ・イギリス・ドイツ・ラオス・日本)

- 上位目標（団体が目指すもの：ビジョン）
スポーツを軸にアフリカと日本をつなぎ、持続可能な社会の実現を目指す
- 団体目標（団体が実施するもの：ミッション）
スポーツを軸にアフリカと日本が繋がることのできるプラットフォームを提供する
- 団体目標達成にむけた具体的な事業

事業1：アフリカ支援事業

アフリカの地域スポーツクラブと連携した独自支援事業の展開

事業2：アフリカ交流事業

国内外の他団体と連携した支援・交流事業の実施

事業3：人材育成・サポート事業

アフリカでインターンシップを行いたい人と現地受入先のマッチング
アフリカでスポーツを通して実施したいアイデアがある人のサポート

事業4：情報発信事業

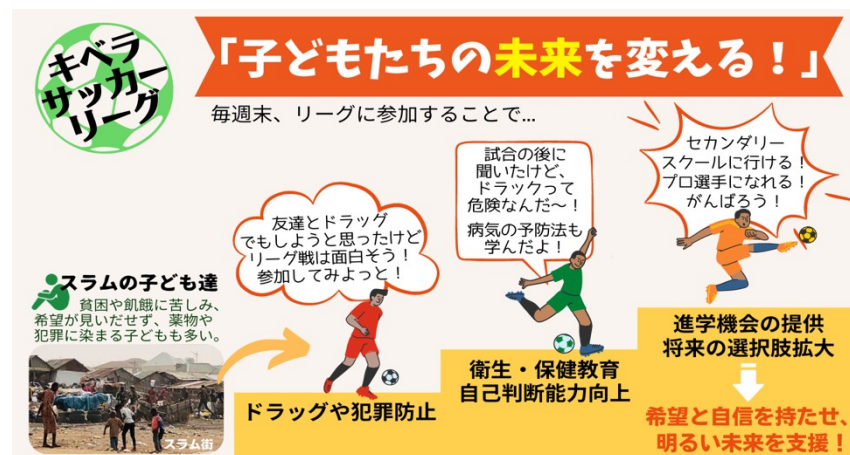
スポーツ、アフリカ、日本等のキーワードを軸にメンバー外への情報発信、
認知向上、事業成果などの発信（学会、学術誌など）

● 事業1-1：ケニアでのユースサッカーリーグ開催

- 2020年から実施してきたコロナ下での食料支援の中で信頼関係を築いてきたHope for Kibera Agapeの共同代表 ケン氏・コリンズ氏の発案によりユースサッカーリーグを開始。
- 子どもたちが熱中できることを作ることに由る非行防止やサッカーを通して夢を叶えられる環境を作ることが目的。

<トライアルリーグ実施 2022.10～12>

- 全54チーム（男子50チーム、女子4チーム）が参加
- 保護者や子どもたち、運営メンバー（地元コーチたち）の反応からリーグ戦の効果を確認
- 十分に食事をしないで参加する子どもたちが多いことから同時に食料支援の必要性を認識
- 2023年3月から正式に年間を通したリーグを実施することを決定



- # <クラウドファンディング実施 2023.1.22~2.28>
- ・年間を通したリーグ戦の開催費用として150万円を目標金額として設定。
 - ・リーグ運営費用（グラウンド代・審判代など）に加えて参加する子どもたちに食事を提供する費用も含める
 - ・30万円のリターンはリーグ戦のネーミングライツ
 - ・クラウドファンディング実施期間中にオンラインイベントを毎週開催。
 - ・最終的に160人から目標金額を上回る1,824,000円が集まる。

アフリカ最大のスラムでサッカーリーグを開催！子どもたちに夢と食事を届けたい！

▲ 一般社団法人A-GOAL ▲ ソーシャルグッド ▲ その他



クラウドファンディングサイト
<https://camp-fire.jp/projects/view/650660>

クラウドファンディング直前イベント！！

【告知】オンラインイベント開催！

アフリカ最大のスラム
「キベラスラムってどんな所？」
～キベラスラム在住の2人に、直接聞いてみよう！～

参加方法は、
HP掲載のURLから！
<https://a-goal.org/>

Facebook & Zoom 配信！

1月21日(土) 21:00～22:00

Ken & Collins

クラウドファンディング応援イベント

キベラサッカーリーグに参加する子ども達に聞いてみた！リーグを通じた変化とは？

日時：1月29日(日) 20:30～21:30
実施方法：zoom
(終了後にYouTubeにて公開予定)
参加方法：HPにて掲載
参加費：無料

ケニアから生中継！

A-GOAL Sports Festival 2023 in Kenya

生中継！オンライン開催
クラウドファンディング挑戦中

【2月5日(日) 19:00～20:00】

詳細や参加方法は、
HPをご覧ください！
<https://a-goal.org/>

#エキシビジョンマッチやダンスあり♪
#これまで連携してきたクラブも紹介！
#コーチ陣にスペシャルインタビュー実施！
ぜひ楽しい様子をのぞきにきてください！

生中継！オンライン開催 2月12日(日) 20時～21時

サッカーリーグで提供される
ケニア飯って、どんなの？

ケニア料理の作り方と、
道端で買えるローカルフードも紹介します！

キベラスラムの子ども達のために
クラウドファンディング挑戦中！

詳細や参加方法は、
クラウドファンディングサイトを
チェック
ください！

#シンプルな味付けだけど、ハマってしまう？
#1日2食でも、これだけは食べるソウルフードとは
#リーグで750人の子どものために昼ご飯を提供したい

スラムで本当にサッカーリーグが子どもたちに
良い影響を与えるのか？スラム専門家が答えます！

2月19日(日) 20時～21時

ケニア在住35年、
キベラでマゴンス
スクール(小学校)を
設立した早川千晶
さんをゲストに
迎えて、実際の
ところ伺います！

詳細や参加方法は、
クラウドファンディングサイトを
チェック
ください！

イベント前日に
ケニア現地から生中継！

Zoom & FB

Special Guest
早川千晶

最優秀ゲスト早川さんとの
スペシャル対談が実現！

A-GOAL代表
岸卓巨

キベラA-GOALリーグカウントダウンイベント

スポーツは社会を変えるのか？
スポーツ社会貢献団体の取り組み！ Facebook&Zoom 配信！

2月25日(土)
20:00～21:30

★豪華ゲストに、各自の活動を通じ
て感じるスポーツのチカラについて
インタビューします！

キベラスラムの子ども達のために
クラウドファンディング挑戦中！

SPECIAL GUESTS

遠川 隼人
加藤 明拓
萩原 輝
友成 晋也
土屋 雅人

モデレーター
宮崎 孝子

<リーグ戦開催前の現地視察・ミーティング 2023.2>

- ・ A-GOAL代表の岸、副代表の福居をはじめA-GOALメンバーが現地を視察し、リーグ戦の運営メンバーや地元政治家、JICAケニア事務所などと打ち合わせを実施。リーグ戦の実施環境や運営体制などを確認・調整
- ・ PARK社など日本の協力者から提供いただいたサッカー用具を現地に寄贈



<プレイベント開催 2023.2.5>

- ・ トライアルリーグ各カテゴリー優勝チームやこれまでA-GOALとコロナ下での食糧支援などで協働してきたクラブなど12チーム・約200名の子どもたちを対象にプレイベントを実施。
- ・ 会場の様子はオンラインで配信。



<TAKESHI SEO & JAPAN presents キベラA-GOALリーグ1stレグ実施 2023.3.45.-5.27 >

- ・U-9、U-11、U-13の3つのカテゴリーで合計47チーム、808名の子どもたちが参加し、15週に渡ってリーグ戦を実施
- ・リーグ戦に参加する子どもたちには食事も提供。食事づくりには地元のママたちが協力。
- ・参加した子どもたちからは「リーグ戦に参加することで親に認めてもらえるようになった」保護者からは「十分に子どもに食べさせられないことがあるため、A-GOALリーグで食事を提供してもらえてありがたい」などの声が寄せられた



- ・リーグ名は、クラウドファンディングで30万円の寄付をいただいた瀬尾さんの意向で決定（ネーミングライツ）。その他の高額寄附者の名前やロゴなどをバナーやビブスなどに掲載。食事提供のコースを選んだ寄附者には御礼メッセージ動画を撮影



- ・リーグ戦には女子チームも参加。生理用品を提供。
(キベラスラムでは、生理用品を買えずに学校に行けなかったり、スポーツが十分にできないという課題がある)



- ・リーグに参加するチームのコーチたちは
WhatsAppでコミュニケーションを取るほか、
随時ミーティングを実施し、リーグで発生して
いる課題に対して自分たちで解決方法を見出し
ながら大きなトラブルや怪我なく1stレグ終了
(例：年齢詐称して年長者を出場させている
コーチに対して、公平にリーグを実施する
意義を他のコーチたちが指摘)
- ・最終日には表彰式を実施。優勝チームには
トロフィーとメダルを授与
- ・コーチからは「普段子どもたちが表彰される
ことは少ないため、とても嬉しい」とのコメント
- ・表彰式の様子はオンラインで配信



ケニアでのその他の活動

<地域スポーツクラブによるスモールビジネスをサポート>

- 2022年度から開始したスモールビジネスサポートを継続。
- 地域スポーツクラブからのビジネス提案をA-GOALで受け付け、地域コミュニティへのインパクトや継続性、将来性などをクラブメンバーに確認・相談し、最大5万円（≒5万ケニアシリング）をサポート
- 養鶏事業を実施しているクラブでは、事業継続中
- ゴミ処理ビジネスを実施している地域クラブでは、新たに共同トイレ運営事業なども計画中



<崇徳高校「絵本プロジェクト」への協力>

- 広島県の崇徳高校インターアクト部が企実施する「絵本プロジェクト」にA-GOALとして協力（株式会社Freewillからの紹介）
- 絵本プロジェクトは、高校生が自ら内容を考え、絵を描き、作成した絵本をケニアの子どもたちに届けるというもの
- 絵本の内容についてのアドバイス（ケニアの動物がモチーフ）や制作した絵本のケニア現地での印刷・配布に協力した
- ケニアの子どもたちと日本の高校生をオンラインで繋いでの交流も実施した
- 2023年度は広島安佐ロータリークラブからの助成を得て、継続実施中



活動紹介動画

<https://drive.google.com/file/d/1TgsEf794f9J0l4zWvwmpJOwb50M3TFxy/view?usp=sharing>

● 事業 1－2：マラウイでの農業支援およびローカル食堂開業

これまでの経緯・背景（2021年度までの取り組み）

- A-GOALでは、2020年からマラウイのケープマクレア（マラウイ湖国立公園内の村）で地元のサッカークラブなどに野菜の種を渡し、農業支援を実施してきた
- 「A-GOAL共同農園」で収穫した野菜やマラウイ湖で獲れる新鮮な魚などを提供し、人材育成・交流の場としても持続的に機能していくためにローカル食堂を開業することを決定
- 2022年4月6日～5月22日の期間でクラウドファンディングを実施し、目標金額1,110,000円を上回る1,889,005円の寄付をいただく

湖と大地の恵みを、地域の未来のために！「ローカル食堂」をマラウイに創りたい！

一般社団法人A-GOAL ソーシャルグッド

NEXT GOAL 150万円に挑戦中

マラウイの地域の人々が創る
ローカル食堂 × 未来！

¥ 現在の支援総額
1,889,005円
170%
目標金額は1,110,000円

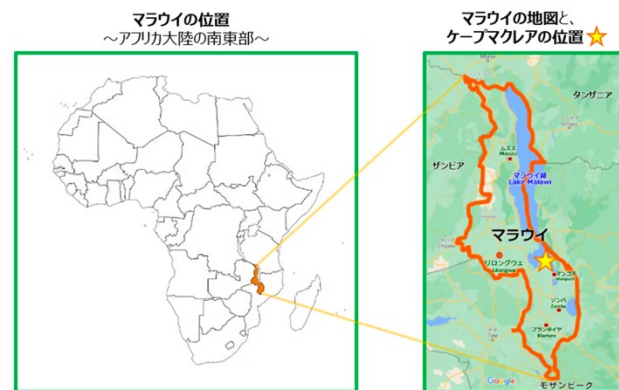
支援者数
189人

募集終了まで残り
終了

お気に入り 15

クラウドファンディングサイト

<https://camp-fire.jp/projects/view/571696>



<セカンダリースクールの演習受入・野菜配布 2022.6~>

- 「ケープマクレアでこんなにいろんな種類の作物を栽培しているところがあるとは知らなかった」という担当の先生の驚きから、「A-GOAL共同農園」で村唯一のセカンダリースクールであるCape Maclear Community Day Secondary Schoolのフィールド演習の受け入れを開始
- この学校の寮で野菜は1ヶ月に1度しか出ない（野菜農家が少なく、野菜は高いので魚と豆ばかり）とのことで農園を手伝ってもらう代わりに野菜を提供



<ローカル食堂 開業準備 2022.6~8>

- マラウイ湖畔に建設可能なスペースを獲得し、地元のサッカークラブメンバーなどとともにキッチン、トイレ、シャワーなどの土台作り・浄化槽設置などから開始
- キッチンスタッフとホールスタッフの公募・選考、レイアウト検討、テーブル・椅子・キッチン用具・食器など必要備品の調達、メニュー検討、会計の仕組み検討など



<店名・ロゴ決定・飲食店ライセンス取得 2022.8>

- ・ 店名を「ZATHU Cape Community Kitchen & Bar」に決定
- ・ ZATHUは、チェワ語（マラウイの国語）で、"私たちの / 私たちのもの" という意味。自分たちのもの・自分たちで創り上げていくものなのだという想いを込めて、命名
- ・ 飲食店として営業していくためのライセンス取得
- ・ デザイナーの小池佑子さんのご協力によりロゴ決定



<プレオープン 2022.8.27>

- ・ 8月27日にプレオープンイベントを実施。当日は、近隣のマラウイ人や各国からの観光客、JICA海外協力隊マラウイ隊員などたくさんのお客さんで賑わい、「とっても美味しい!」「お店の内装が素敵!」といった好意的なフィードバックが寄せられた
- ・ お店の様子をオンラインでも配信。
(YouTube <https://youtu.be/B88Jt8gzXvM>)

いよいよ、プレオープン!

マラウイローカル食堂
ZATHU Cape Community Kitchen
オンライン生中継!

Facebook
ライブ配信
@ A-GOAL
Facebookページ

2022年 8月 27日 (土)
日本時間 **20時~21時**
(マラウイ 13:00~14:00)

今年4~5月にかけて、クラウドファンディングを通して多くの方たちからサポートをいただいた、マラウイのローカル食堂が、いよいよ 8月27日(土)にプレオープンします!
当日の現地の様子をオンライン生中継しますので、どうぞご参加ください!

ZATHU Cape Community Kitchen
Pre-Opening!
Saturday,
27 August 2022
Grand Opening!
Starts from 1st
September 2022 (Tues)
Located on
main Chikola road
in Mankhoma village
in Cape Maclear
Malawi



<グランドオープン～営業中 2022.10.15>

- 8月のプレオープン以降、運営体制の整備、メニューの改良、SNS広報の開始などを行い、10月15日にグランドオープン
- 12月25日は国内外からの観光客に加え、地元の家族連れなども来店し、開店以来最高の売上を記録
- 周辺のロッジの宿泊客が朝晩の食事をZATHUで食べるケースも増加
- A-GOAL共同農園とZATHUの間で、野菜の供給・支払いなど持続的な仕組みづくりにも着手
- 日本からのインターンも定期的に受入



<ZATHUオープン記念サッカー大会開催 2023.2.>

- ZATHUのオープンを記念し、これまで共同農園での農作業やZATHU建設に協力してもらった地元のサッカークラブメンバーを集め、村対抗サッカー大会を実施
- 試合終了後にはZATHUで慰労会を実施



<Cape Maclear Clean Up Campaign 2023.5>

- 現地NGO「Sustainable Cape Maclear」主催の地域の清掃活動イベントにA-GOALおよびZATHUとして協力
- 地域サッカークラブメンバーや地域住民、A-GOALインターン、ZATHUの常連さんなどが参加
- 積極的に参加した地域サッカークラブにはPARK社のサッカーボールが寄贈されました



<地域サッカークラブ 対話&親善試合 2023.5>

- 清掃活動に参加した地域サッカークラブのメンバーをZATHUに集め、「自分の地域にどのような貢献しているか」「今後どのような貢献が可能なのか」「持続可能性とは何か」「地域への貢献や環境保全の重要性」「各人の将来」などなどディスカッション
- 対話の後はZATHUで食事（ユース団体様特別メニュー）、親善試合（モンキーベイチーム 対 ケープマクレアチーム）

上記イベントの他、2022年12月にはサッカーワールドカップ観戦会をZATHUにて実施
ZATHUは地元のユースやマラウイ国内外からの来訪者の交流の場・憩いの場として機能している

North, Central and South America	Africa	Asia, the Middle East, and Pacific
Canada, USA, Guatemala, Argentina, Chile, Colombia, Mexico, Costa Rica, Venezuela, Brazil, Ecuador [11]	Malawi, Kenya, Mozambique, Tanzania, Rwanda, South Africa, Uganda, Zambia, Namibia, Ghana [10]	Japan, Nepal, Thailand, China, India, Israel, Australia, New Zealand, Samoa, South Korea [10]
Europe		
France, Belgium, Spain, England, Switzerland, Germany, Iceland, Netherlands, Italy, Sweden, Norway, Poland, Wales, Denmark, Slovakia, Scotland, Ireland, Portugal, Finland, Austria, Lithuania, Belarus, Czech Republic, Russia [24]		

* We have welcomed visitors from 55 countries so far (from August 2022 to June 2023)

<第3の農園での農作業開始 2023.5>

- これまで農作業を行ってきた2つの農園（A-GOAL共同農園、Sustainable Cape Maclearのブロット）に加えて、第3の農園での作業を開始
- これまでの2つの農園は村の西側に位置していたことから、西側のサッカーチームのメンバーを中心に活動していたが、第3の農園は、村の東側に位置するため、東側のチームのメンバーも活動に参加
- トマトと葉物野菜からスタート。この畑は（他の2つの農園と違って）1年中、水へのアクセスがある。村長さんも熱心なLead farmerとしても知られ、この土地の確保、農作業、アドバイスなどにおいても、とても重要な役割を担っている

<アヒルの飼育小屋完成&飼育開始 2023.5>

- A-GOAL共同農園の中心メンバーの家の庭にアヒル小屋を作り、飼育開始準備
- 飼育が軌道に乗れば、ZATHUへの販売を開始し、現金収入につながる
- アヒルの世話を担っているメンバは、障がいを持ちながらもセカンダリースクール（夜間）に通い、共同農園での農作業（ボランティア）にも熱心に参加。アヒルビジネスが、彼の学費や家計の支えになることも狙いとしている



● 事業2：アフリカ交流事業 国内外の他団体と連携した支援・交流事業の実施

Jリーグクラブとの連携

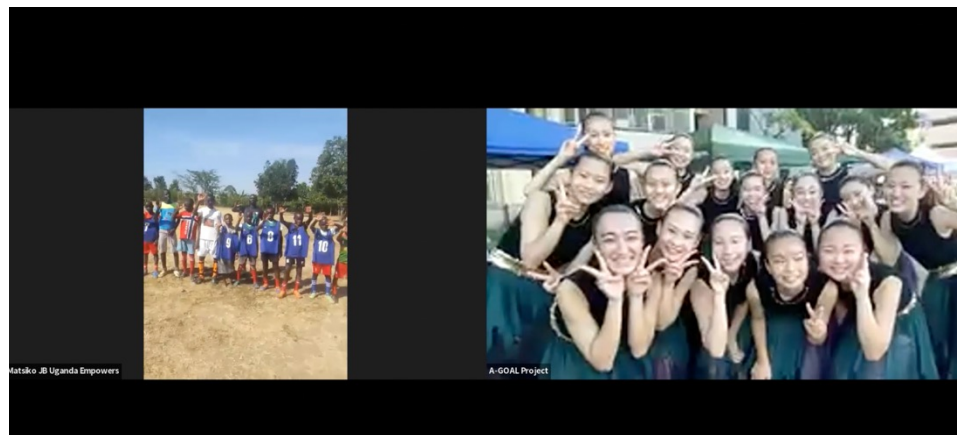
- 横浜スポーツアンドカルチャークラブ（Y.S.C.C.）
 - ・横浜開港記念サッカー大会でのAfrica Challenge（運動能力測定を通じたアフリカ交流プログラム）の実施（合同会社CHEZAとの連携企画）（2022.6.2）
- アスルクラロ沼津
 - ・ユニフォームを寄贈いただきケニアのサッカークラブにお届け（2022.6.2）
- ブラウブリッツ秋田
 - ・ブラウブリッツ秋田・中央大学小林ゼミ「福たす」プロジェクトと連携したホームゲームでのAfrica Challenge（運動能力測定を通じたアフリカ交流プログラム）の実施（2022.9.25）



その他の団体との連携による支援・交流事業

■ 日本チアダンス協会・沼津学園桐陽高等学校

- ・日本チアダンス協会に協力いただき、「アフリカンフェスタin沼津」の会場で、沼津学園桐陽高等学校チアリーダー部 Merry Bunnies とウガンダの子どもたちをオンラインで繋ぎ、ダンス交流を実施（2022.7.17）



■ 茨城県ユニセフ協会・笠間市立友部小学校

- ・茨城県ユニセフ協会の仲介により、友部小学校とマラウイの子どもたちをオンラインで繋ぎ交流授業を実施。友部小学校からはノートも寄贈された（2023.2.14）



< A-GOAL メンバー 青柳さん 一時帰国 交流会 > (2022.6.5)

- A-GOALメンバーの青柳直希さんがマラウイから一時帰国する機会に合わせて交流会を実施
- 青柳さんからのマラウイでの活動の紹介や、ボッチャを通じた交流



< 大阪アフリカビジネスフォーラム での Africa Challenge実施 > (2022.6.5)

- 在日アフリカ人ネットワーク (Africa Diaspora Network Japan) が主催する「大阪アフリカビジネスフォーラム」に、合同会社 CHEZAとともに出席。ウガンダの子どもたちと会場の子どもたちを繋いで交流プログラム実施



Organized by CHEZA Sports Performance Test // AFRICA CHALLENGE

参加費無料 大阪アフリカビジネスフォーラム・サイドイベント

競技サイトから
過去のランニングをチェック！
日本語 English

アフリカ人トップアスリートや子どもたちの
運動能力測定記録にチャレンジ！

No.1は誰だ？
Challenge the top rankers!

プロアスリートテスト（競技性）、
垂直跳び、立ち幅跳び など
複数の測定項目でチャンピオンを目指せ

※最終受付 17:00
2022 10 20 THU 15:00-17:30

後援：東大阪市教育委員会

① 大阪府立文化創造館 1階 創造支援室 D1
※会場は土足での入場ができません。
※室内シューズが着用で参加ください。

運動能力測定会
対象：幼児から大人まで
時間：15:00～17:30
最終受付：17:00

アフリカの子どもたちのオンライン交流！
対象：小学生および中学生
時間：16:00頃～（若干前後する可能性あり）
定員：12名（※参加者以外も観覧可）
※アフリカとオンラインで繋が、現地の子供たちと一緒に運動能力測定やスポーツで交流します
ご希望の方はQRコードよりお申し込み下さい。

- ・ 沼津市ではじめて開催されたアフリカンフェスタ in 沼津にA-GOALブースを出展。Africa Challenge（運動能力測定を通じたアフリカ交流プログラム）の実施や物販
- ・ 協力隊OVによるトーク企画にも参加した他、アフリカを語る集い（日本マラウイ協会主催）とのコラボ企画としてマラウイ中継イベントを実施



< TICAD 8 公式パートナーシップ事業「AFRICA ACTION DAY」開催 > (2022.8.20)

- チュニジアでのアフリカ開発会議（TICAD 8）開催に合わせて、A-GOAL初の大型対面イベントとして、JICA横浜にてスポーツ・音楽・ビジネス・国際協力などの側面から日本とアフリカの繋がりを再確認するイベントを開催。
- 在日アフリカ人30名を含む、約250名が来場
- 一般社団法人アフリカクエスト・JICA横浜との共催。一期JAM・WITH PEERなどの協力を得て実施。12団体出展。



TICAD 8 開催記念

AFRICA ACTION DAY 2022

8/20 SAT
9:30~17:00

場 所： JICA 横浜
住所：横浜市中区新港 2-3-1
アクセス：桜木町駅 徒歩 15 分、関内駅北口 徒歩 15 分、馬車道駅 徒歩 8 分

入場料 無料

有料プログラム参加費
一般参加 1000 円
在日 アフリカン 無料

詳細・申込はこちら

ライブペインティング
鈴木豪 (Tsukeno Sukenobu) / サタームルン (Satarmun) / ライター (Laiter)

ワークショップ
有料
ワークショップ参加費は「Aboomando (アボマンダ)」 / アフリカ布を使ったワークショップ

トークセッション
有料
ワークショップ参加費は「Aboomando (アボマンダ)」 / アフリカ布を使ったワークショップ

ポッチャ交流会
有料
ワークショップ参加費は「Aboomando (アボマンダ)」 / アフリカ布を使ったワークショップ

アフリカン雑貨マーケット

TICAD
TICAD8 パートナーシップ事業認定

主催：一般社団法人アフリカクエスト・一般社団法人 A-GOAL
後援：JICA 横浜
協力：WITH PEER, サロン 2002

お問い合わせ
一般社団法人 A-GOAL 代表 藤 support@agoal.org



< フットサルフェスタ（神戸）での Africa Challenge実施 > (2022.12.3)

- 2021年に続き、フットサルの全国大会「フットサルフェスタ」にAfrica Challengeコーナーを設置。ケニアの子どもたちと立ち幅跳びやフラフープで交流。



< Discover Africa（原宿）の運営協力・出展 > (2022.12.24-25)

- 主催団体のNPO法人一期JAMから依頼を受け、出展団体の取りまとめやボランティアの募集、スタンプラリーの実施など、イベント開催全般に協力



<ホワイトリボンラン小山拠点 実施協力・出展（栃木県小山市）>（2023.3.4）

- ・ ホワイトリボンランは、3/8の国際女性デーに合わせて、国際協力NGOジョイセフの主催により開催されるチャリティランイベント。
- ・ 小山拠点で実施するのは今回で3回目。A-GOALでは、立ち上げから毎年開催に協力。
- ・ 今回は運営メンバーとしてTAIYO財団・ナイジェリアハウスと連携し、プログラム構築や広報活動などに協力。当日は、A-GOALブースを出展し、ケニア・マラウイ商品の物販、チャリティおみくじ、Africa Challenge(運動能力測定を通したアフリカ交流プログラム)を実施。



<「アフリカの杜」実施協力・出展（宮城県仙台市）>（2023.5.27・28）

- ・ 主催団体である株式会社ちきゅう部から依頼いただき、仙台ではじめて開催する大型アフリカイベント「アフリカの杜」の開催に協力。プログラム構築や出展団体の募集・取りまとめなどを担った。
- ・ 東北の人々がアフリカを少しでも身近に感じ、興味をいなく、きっかけになることを目的に雑貨や食品の販売、展示、ワークショップ、パフォーマンスなどアフリカを体験できるコンテンツを実施
- ・ 当日は、A-GOALとしてウォーキングサッカーやブース出展なども実施



●事業3：人材育成・サポート事業

- ・ アフリカでインターンシップを行いたい人と現地受入先のマッチング
- ・ アフリカでスポーツを通して実施したいアイディアがある人のサポート

<ケニア・マラウイでのインターン（ボランティア）受入>

2022年度は4名のインターン（ボランティア）が、アフリカ現地でA-GOALの活動をサポート

① マラウイでのZATHU立ち上げインターン（2022.7.6-19）

ローカル食堂「ZATHU Cape Community Kitchen & Bar」立ち上げ準備期に日本からマラウイに渡航し、現地での農作業への参加やZATHU立ち上げのサポートなどを行なった。



② マラウイでのZATHU運営、サッカー交流インターン（2023.4-6）

ローカル食堂「ZATHU Cape Community Kitchen & Bar」立ち上げ後に日本からマラウイに渡航し、ZATHUの運営サポートやサッカーを通じた交流、清掃活動など地域活動に参加。その後、ケニアでも活動。



③ ケニアでのキベラA-GOAL立ち上げ・運営インターン（2023.1-5）

ナイロビ大学留学中にA-GOALの活動に参加。地元のサッカークラブ指導者とともに、サッカーリーグの運営や参加者へのアンケート／ヒアリング調査、オンラインイベントでの現地中継などを行なった。



④ ケニアでのキベラA-GOAL運営インターン（2023.5-）

日本でリーグ立ち上げのクラウドファンディングに協力した後、ケニアに渡航し、リーグ運営をサポート。参加者へのアンケート／ヒアリング調査、オンラインイベントでの現地中継などを行なっている。マラウイでも活動。



<タイガーモブ連携 マラウイボランティアキャンプ企画・参加者募集開始>

- ・スタディーツアーや海外インターンシップを専門とするタイガーモブ社との連携により、マラウイでのボランティアキャンプを企画。2023年9月8日～18日実施に向けて参加者募集中。

https://www.tigermov.com/short_program/detail/929

海外インターンシップ、海外インターンコミュニティはタイガーモブ



新規会員登録

ログイン

海外インターンを見つける

オンライン
海外インターンを見つける

短期プログラムを見つける

タイガーモブの特徴

お問い合わせ

← 一覧に戻る



【9月開催】アフリカ・ボランティア・ピグナーズキャンプ inマラウイ～観光・スポーツ・環境を通じて地域貢献にチャレンジ！～



アフリカ ボランティア ピグナーズキャンプ

スポーツ・観光・環境で
地域貢献！

アフリカでボランティア体験したい人
集まれ！のどかで安全なアフリカの国
立公園を舞台にしたボランティア入門
プログラムです。現地で長年活動する
日本人専門家や現地ガイドと一緒に、
観光・スポーツ・環境を通じて地域に
貢献。英語が苦手でも大丈夫！自分ら
しさを活かしてプロジェクトの企画か
ら運営までやってみよう！

今すぐ申し込む

オンラインで話を聞く

期間:2～3週間 | マラウイ | 社会課題解決/SDGsに挑む,短期合宿型,複数職種に携わる,2023年夏休み

/1

● 事業4：情報発信

スポーツ、アフリカ、日本等のキーワードを軸にメンバー外への情報発信、認知向上、事業成果などの発信（学会、学術誌など）

<JAグループ茨城 YouTube企画でのマラウイ料理・活動紹介（2022.10.9）>

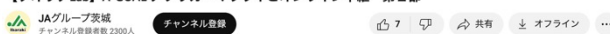
- JAグループ茨城が運営するYouTubeの企画で、JAグループ茨城内のキッチンスタジオ「クオリテLab」とマラウイをオンラインで繋いで、A-GOALの活動やマラウイの農業について紹介した他、在日マラウイ人の協力を得て、スタジオにてマラウイ料理を作成した



【クオリテLab】A-GOAL アフリカ・マラウイで畑を作ろう！ 第1部



【クオリテLab】A-GOAL アフリカ・マラウイとオンライン中継 第2部



【クオリテLab】マラウイ料理つくって食べてみよう



<https://youtu.be/2syphu01EccU>

https://youtu.be/Yk_A1VW0KI

<https://youtu.be/RVC5YKuAJcE>

<協力隊まつりへの出展・「スポーツ×アフリカ」ワークショップ実施（2023.4.22-23）>

- JICA市ヶ谷で開催された協力隊まつりに出展。
Pa moja・WITH PEERと連携し、『元協力隊と一緒に！Africa×Sportを語る会』を実施。



<オンラインイベント>

- A-GOALとして各種オンラインイベントを実施・出演
- 「世界食料デー記念イベント」
- ウガンダ隊OV会主催イベント
他



<掲載メディア>

- 中日新聞や読売新聞にてA-GOALの活動が紹介された



<SNSやWEBサイト、サポーター通信での情報発信>

- Facebook : <https://www.facebook.com/2020AGOAL>
- Twitter : https://twitter.com/i/flow/login?redirect_after_login=%2FAGOAL2020
- Instagram : https://www.instagram.com/a_goal2020/
- YouTube : <https://www.youtube.com/@a-goal>
- A-GOAL公式サイト : <https://a-goal.org/>
- サポーター通信 : 月1回発行 (マンスリーサポーター・寄附者・協力者など約500名に発信)